

編集後記

流域圏学会誌の第8巻1号を発刊いたします。

編集・出版委員会委員長を担当しております高知工業高等専門学校の岡田です。

本号では、巻頭言として本学会の那須新会長による「先端的課題に応える流域圏学会」、つぎに、原著論文として「源流と河口の環境―鳥取県加勢蛇川を事例として」、解説として「中山間地域の流域における人・森林・気象災害の現状と関わり：高山市大八賀川流域における豪雨・豪雪を事例として」が掲載されています。また、研究発表会企画セッションの講演スライドを掲載しております。ぜひ、ご一読ください。

今後も流域圏学会誌を充実させていく上で、会員の皆様には本学会にふさわしい研究成果や解説、総説、流域紀行等の積極的な投稿をお願いいたします。

(編集・出版委員会 委員長 岡田将治)